

実施項目	(35)「県庁力最大化」に向けた業務執行の推進	担当部課 (室)名	総務部経営企画・協働推進室	
<p>1. これまでの取組状況および課題</p> <p>平成20年度に、日常の業務を行う中でどのようなことに問題を感じているか、よりよい仕事をする上でどうすればよいかについて知るため職員アンケートを実施した。</p> <p>職員アンケートにより顕在化した問題に対する解決策を検討するため、県庁力最大化プロジェクトチームを設置し、3つの提案（「ほっとシート」の作成・活用、毎朝(毎日)ミーティングの実施、4S(整理・整頓・清掃・習慣)の実践)を受けた。</p> <p>また、職員の現場からの発想による実践的な工夫や努力を見出すことにより、職務に対する意欲を高めるため、平成18年度より「しごと☆きらり」を実施し、具体的な取組を募集し庁内に周知してきた。</p> <p>さらに、特別の事業予算を伴うことなく、職員一人ひとりが知恵を出し、汗をかき、県民の皆さんへのきめ細かなサービスの向上に努めるゼロ予算事業を「知恵だし汗かきプロジェクト」として取りまとめ、実施し、きめ細やかな県民サービスの向上につながる120の取組を進めてきた。</p>				
<p>2. 計画期間中における取組</p>				
<p>(1) 基本的な考え方</p> <p>県民の期待する役割を果たしていくためには、職員の人的活力や情報力が結びついて、組織の力を最大限に発揮する「県庁力の最大化」が必要であり、特別な予算を伴うことなく、職員一人ひとりが知恵を出し、汗をかく「知恵だし汗かきプロジェクト」の更なる推進を図り、政策課題の解決や、きめ細かなサービスの向上を目指す。また、現場からの発想を重視した「対話」と「共感」による県政の実現や職務に対する意欲を高める観点から、職員と知事との意見交換を活発に行う。</p>				
<p>(2) 具体的な取組</p> <p>ア 「知恵だし汗かきプロジェクト」の推進 特別な予算を伴うことなく、職員一人ひとりが知恵と汗を出すことにより、政策課題の解決やきめ細かな県民サービスの向上を目指す取組として「知恵だし汗かきプロジェクト」を推進する。</p> <p>イ 職員と知事との対話の実施 平成18年度より実施している「しごと☆きらり」など、職員の現場からの発想による取組や諸課題等の情報提供を通じ、職員と知事との意見交換を活発に行う。</p> <p>ウ 県庁力最大化プロジェクトの取組推進 県庁力最大化プロジェクトチームの3つの提案について、庁内に周知し取組の推進を図る。</p>				
<p>(3) 平成27年度以降の取組の方向 計画期間の取組経過を踏まえ、平成27年度以降の取組の方向を検討する。</p>				
<p>3. 具体的取組項目のスケジュール</p>				
	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度
ア 「知恵だし汗かきプロジェクト」の推進	プロジェクトの実施			→
イ 職員と知事との対話の実施	対話の実施			→
ウ 県庁力最大化プロジェクトの取組推進	継続実施			→